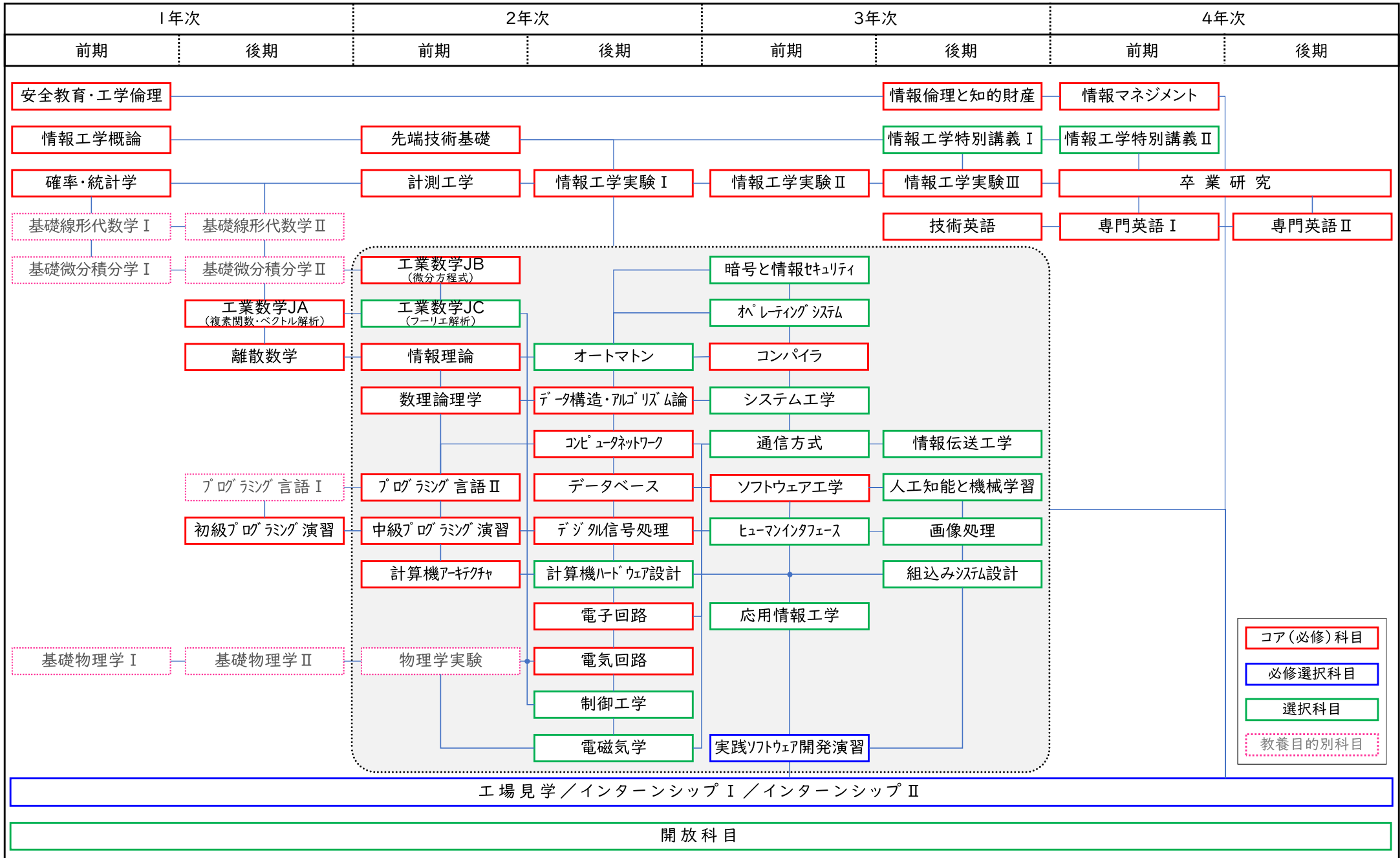


総合工学科情報工学コース カリキュラムマップ



主要科目群(必修科目, 教養目的別科目, 選択必修科目)とディプロマポリシーとの関係

科目	ディプロマポリシー項目						
	1	2	3	4	5	6	7
安全教育・工学倫理	◎		○				
情報倫理と知的財産	◎		○				
情報マネジメント	◎		◎	○			
情報工学概論	○	○	○	○		○	
先端技術基礎	○	○	◎			○	
確率・統計学		○	○	○		◎	○
計測工学		○	○	○		◎	○
情報工学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
卒業研究	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
技術英語		○	○		◎		
専門英語Ⅰ・Ⅱ		○	○		◎		
基礎線形代数学Ⅰ・Ⅱ		○				◎	○
基礎微分積分学Ⅰ・Ⅱ		○				◎	○
工業数学JA		○				◎	○
工業数学JB		○				◎	○
離散数学		○				◎	
情報理論		○				◎	
数理論理学		○				◎	
データ構造・アルゴリズム論		○	○			◎	
コンパイラ		○	○			◎	
コンピュータネットワーク	○	○	○			◎	
データベース		○	○			◎	
ソフトウェア工学		○	○			◎	
プログラミング言語Ⅰ・Ⅱ		○	○			◎	○
初級・中級プログラミング演習	○	○	○			◎	○
デジタル信号処理		○	○			◎	○
計算機アーキテクチャ		○	○			◎	
基礎物理学Ⅰ・Ⅱ		○				◎	○
物理学実験		○			◎	◎	○
電子回路		○	○			◎	
電気回路		○	○			◎	
実践ソフトウェア開発演習	○	◎	○	◎	○	◎	◎
工場見学	◎	○	◎		◎	○	
インターンシップⅠ・Ⅱ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

ディプロマポリシー項目

1. 技術者倫理:
情報工学の基礎知識を身につけ、科学技術が社会や自然環境に及ぼす影響を理解し、責任ある技術者として行動できる。
2. 自主的継続的学習:
情報工学に関連する様々な分野に関心を持ち、未知分野を理解するために、自主的・継続的に学習できる。
3. 多面的な思考能力:
世界に多様な考え方があることを学び、様々な立場の考えや意見を尊重し、多面的に物事を考えることができる。
4. 計画的な活動:
情報工学に関連する課題に対して、与えられた条件や期限を熟慮し、計画的に作業を進め、報告できる。
5. コミュニケーション能力:
専門分野の英語で書かれた文献について理解し、説明できる。また、学習や実験で得た知見を、論理的に記述し、的確に発表し、討議できる。
6. 知識の修得と応用:
自然科学と情報技術に関する十分な知識を修得し、それらの知識を応用できる。
7. 問題解決能力:
与えられた問題に対し、修得した知識や技術を利用して、関連情報を収集し、解決手法を提案し、実現できる。

工学部総合工学科情報工学コース

科目区分/領域	到達目標	ディプロマ・ポリシー (DP) との関連						
		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7
共通基盤	学生は、科学技術の重要な用語や現象について説明することができる。	◎	○	○		○		○
	学生は、科学技術に重要な数学や物理学の基礎知識を説明することができる。	◎	○	○		○		○
	学生は、ヒト社会と自然環境における科学技術の役割を理解することができる。	◎	○	◎		○	○	◎
情報工学の基礎	学生は、情報工学に関する基礎知識を説明することができる。	◎	○	◎	○	○	○	○
	学生は、情報工学における基本技術を用いることができる。	○	◎	◎	◎		○	○
	学生は、情報工学の基礎知識と実社会の技術・製品とを関係づけることができる。	○	◎	◎	◎		○	○
情報工学の応用	学生は、自らが得た知識を課題解決の手段として利用することができる。	○	◎	○	◎	◎	◎	◎
	学生は、新しい概念や技術を創造するための活動に参加することができる。	○	◎	○	◎	◎	◎	◎
	学生は、ヒト社会と自然環境における情報工学の価値を説明することができる。	◎	○	◎	○	◎	◎	◎

ディプロマ・ポリシー (DP) の説明

DP1：情報工学の基礎知識を身につけ、科学技術が社会や自然環境に及ぼす影響を理解し、責任ある技術者として行動できる。

DP2：情報工学に関連する様々な分野に関心をもち、未知分野を理解するために、自主的・継続的に学習できる。

DP3：世界に多様な考え方があることを学び、様々な立場の考えや意見を尊重し、多面的に物事を考えることができる。

DP4：情報工学に関連する課題に対して、与えられた条件や期限を熟慮し、計画的に作業を進め、報告できる。

DP5：専門分野の英語で書かれた文献について理解し、説明できる。また、学習や実験で得た知見を、論理的に記述し、的確に発表し、討議できる。

DP6：自然科学と情報技術に関する十分な知識を修得し、それらの知識を応用できる。

DP7：与えられた問題に対し、修得した知識や技術を利用して、関連情報を収集し、解決手法を提案し、実現できる。